

災害時における通訳者の立場と動き方について

東日本大震災の際、全通研健康対策部として被災地を訪問、現在は防災士としても活動している森川美恵子さんの話を聞き、その後、グループワークを行います。

災害時、わたしたちは、どう動き、どう考えたらよいのかを、一緒に考えましょう。

■ 日時 2024年6月29日（土）10:00～12:00

■ 参加費 無料

■ 方法 Zoom

■ 内容 講演「災害に備えて今私たちにできること
～防災士と手話通訳者の立場から～」

講師 森川美恵子委員

（手話通訳活動あり方検討委員会）

グループワーク

■ 定員 100カウント（Zoom画面）

※定員を超えた時点で申込フォームを締め切ります。

■ 申込期間 2024年5月13日（月）～6月10日（月）

■ 申込方法 全通研ホームページ内にある行事案内、

または下記URLからお申込みください。

<https://www.zentsuken.net/jirei24>

*複数で視聴する場合は、代表者1名が申込みを行い、
入力項目の「その他」欄にて参加者数と参加者氏名を
お知らせください。



講師プロフィール

あり検委員、防災士

愛媛県手話通訳問題研究会会長

前全通研健康対策部部長



申込フォーム

《手話通訳活動あり方検討委員会とは》

手話通訳の技術・技能は、手話というコミュニケーション手段に限定されるものではなく、対象者が主体的に課題に取り組むことができるようにすることが大切であると考え、手話通訳実践にもとづく手話通訳論の構築を行うことを目的として設立された委員会です。

手話通訳あり方検討委員会が著作・編集した書籍です➡

